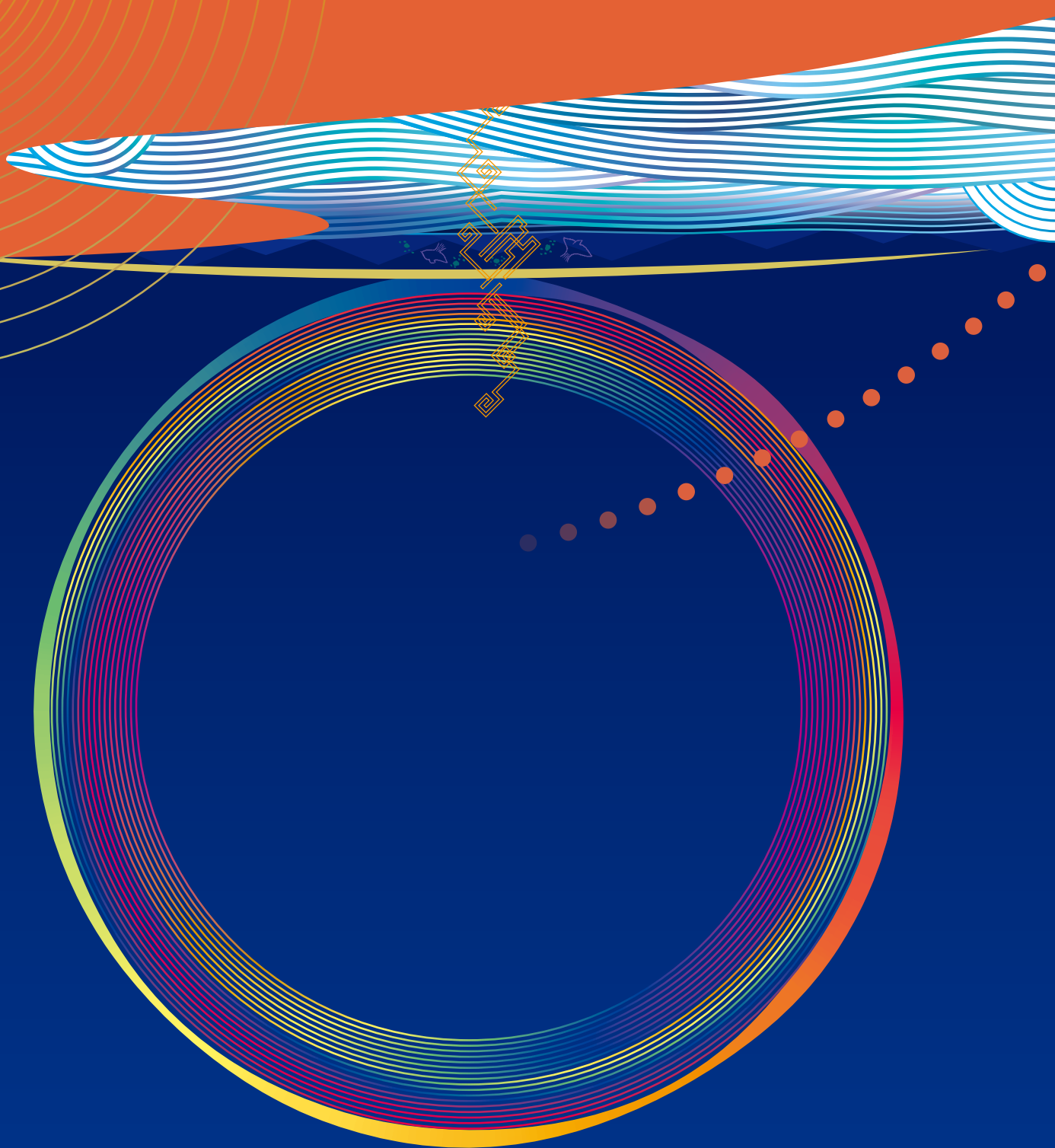




新しい京都のデザイン

京都デザイン賞

入 賞 ・ 入 選 作 品

www.kyoto-design.net/award.html

KYOTO DESIGN ASSOCIATION



KYOTO
DESIGN
AWARD
2013

ごあいさつ

京都デザイン協会は、1967年5月「21世紀への新しい波を京都から」を設立趣旨として、京都に活動基盤をおく、各ジャンルの第一線で活躍するデザイナー及びデザイン関係者を結集し、デザインを通じて京都の地域産業の振興と、豊かな生活環境の形成に寄与することを目的として設立し、46年間に亘る活動を続けてまいりましたが、より一層の社会貢献をはたせる団体を目指し、今年6月4日には公益社団法人京都デザイン協会に移行し、新たな一歩を踏み出しました。

「京都デザイン賞2013」入賞・入選作品は、2009年度の第1回以来、京都の伝統と文化を守りながら、新たなデザイン手法を用いて、新しい京都のデザイン創出を図る作品を発見、顕彰、そしてその良さを広報し、流通に載せる一助を担うことを一貫した目的として公募し、応募された作品の中から審査により厳選された作品です。

第5回の今回は89点の作品応募をいただきました。当初より審査基準は「斬新な京都のイメージを創出している」「独創性がある」「使いやすい配慮がなされている」「新素材、技術に挑戦している」「環境への配慮がなされている」を念頭に、一次審査を協会会員、二次審査を外部審査員により実施し、35点の入選作品を選出、その中から京都デザイン賞 大賞、京都府知事賞、京都市長賞、京都商工会議所会頭賞、京都新聞社賞、学生賞をそれぞれ1点ずつ選出させていただきました。

ここに「京都デザイン賞2013」の入賞・入選作品を選出し展示させていただけますことは、出品者のもとより、後援、協力、協賛をいただいた多くの企業・団体・個人みなさまのご理解とご協力のおかげと、心より感謝申し上げます。

私たちは「京都デザイン賞」で選ばれた優れた作品を、「京都発21世紀の大きな波」として日本、世界へ向け発信していく所存ですので、より一層のお力添えをお願い申し上げます。

2013年10月

主催者代表 公益社団法人京都デザイン協会
理事長 奈良 磐雄

審査員講評

杉崎 真之助（グラフィックデザイナー・大阪芸術大学教授）

2つの視点で審査に挑みました。ひとつは専門分野のグラフィックデザイン、もうひとつは社会に対してデザインに何ができるか。

このコンテストの特徴は、プロのデザイナーから職人・起業家・学生の作品まで、4つの分野が同時に一つのステージで審査されることです。このような総合的デザイン賞では、それぞれのデザイン分野の中での評価を超えて、デザインに新鮮な視点が投影されているかどうか、社会に対するデザインの意味が込められているかどうかが問われます。

学生賞の「京風証憑『古都書』」は、造形の秀逸さだけでなく、ありふれた伝票に淡くイメージを付加することで、メッセージを伝える新たなメディアへと、鮮やかに変身させています。

市長賞の「祝、角樽『版画紙箱』」は、わざわざお酒を提げてお祝いの気持ちを伝えるという丁寧な行為を現代のパッケージというカタチに還元したデザインといえます。

商工会議所会頭賞の「美山町特産ブランド酒『和く輪く京美山』」は、地域ブランドのデザインの多くが色を抑えたそれらしい様式のものばかりになっている中で、フラットな色気と華やぎのあるラベルデザインによって、グラフィック表現の可能性を再認識させてくれます。

デザインとは造形表現のみではなく、課題を見つけて答えを出すことであると捉えれば、社会を広く観察することから美しい回答が導かれるのでしょうか。

滝口 洋子（京都市立芸術大学教授）

デザインは人のより豊かな生を目的に今日ますますその対象を広げ、形のあるなしにかかわらず人の生みだすモノや活動のすべてに関わっています。形が美しく機能性に優れていることや今を感じさせる時代性はデザインにとってももちろん重要ですが、そのモノが完成するまでの作り手の思い、メッセージが最も大切であること。そしてそれをどのように発信して伝えようとしているのか、その方法や計画に対しても評価すべきなのだ今回審査を通して再確認いたしました。

入選・入賞された作品のなかにはモノの完成形としてはまだ変化する可能性があるにしても、その活動や計画に対する姿勢に魅力があり評価されたものが何点ありました。

領収証のデザインから日本酒を通した地域おこしの活動、食に対する取り組み、保育園舎の提案にいたるまでデザインの形はさまざまで、比較して賞を決定することは一見不可能に思えます。しかし作り手の思いに焦点をあててみるとそこに強いメッセージとともに京都に対する思いも見え隠れし、ディスプレイを繰り返すことで次第に審査する側の見解は一致してきます。こうして第5回と審査を重ねることで京都デザイン賞独自の方向性もはっきりしてきたのではないかと感じました。

第2分野の作品については和装洋装のジャンルを超える新鮮なコスチュームデザインやさまざまなターゲットに向けた提案が増えてきました。今回は残念ながら僅差で入賞にはいりませんでした。京都発の衣のデザインの広がりが感じられ今後の展開が楽しみです。

北條 崇（プロダクトデザイナー・京都造形芸術大学准教授）

今年の傾向としては、新しさと京都らしさの両立を図った、挑戦的なデザインの商品が多かったという印象があります。その上で、商品としてのコスト、流通などを、高い次元でバランスを取っているものが高い評価を受けました。

「デスクトップ・ガーデン・プロジェクト」では、数年前の作品を発展させて、海外への展開を図っており、作品として、プロジェクトとして格段の広がりがありました。また、「紙製角樽」は、近年見直されている日本酒の新しいパッケージの提案で、作法、美しさ、コストのバランスが良い点が評価されました。

「京の入れ物」は音をデザインした調味料入れで、食事中的楽しさが感じられました。音が具体的にわかるモデルがあれば、さらに良さが伝わったと感じます。

「インセンスホルダー コリップ シェル」はスタイリングの美しさと、構造が直感的に伝わり完成度の高い商品です。また、「ネプロス ラチェットハンドル」は、機構の革新性と美しさがあり、まるで工芸品のようでした。

ただ、応募賞品の中には、その良さや可能性が十分に商品やプレゼンテーションに反映されていないものも多くありました。

「ステンレス製の卓上仏壇」は、意欲的な作品でしたが、ビスがそのまま見えているなどデザイン的には整理がされていませんでした。

「防災備蓄量多機能収納バック」は、非常用の量バックが災害時に応用可能として提案されていましたが、シチュエーション、目的などとの乖離が多く、さらなる検証が必要と感じました。

しかし、どちらも制作者の熱意や可能性が感じられ、伸びしろのある商品であったことが、評価に繋がりました。

作品は、お客様にその良さが伝わってはじめて商品になります。その為の、商品の良さのお客様目線での再確認、伝え方の工夫をそれぞれ考え直すようにして下さい。

新井 清一（建築家・京都精華大学教授）

京都デザイン賞の審査に関わる場合、普段の審査とは違った楽しみがある。それは、グラフィック、プロダクト、ファッション、建築領域を横断する作品群が対象であるが故なのかもしれない。

普段であれば、同じ机上での判断が難しい領域を審査基準のキーワードを基に本年も京都デザイン大賞として相応しい作品群が選ばれたと思う。

建築部門として、多くの作品の応募があった事は嬉しい限りである。その中から、大賞として選ばれた京都八百一本館、京都新聞社賞として選ばれた作品が審査員の目に留まった所以は、形態、デザインのあり方よりはむしろ、そのプログラムを京都の地、それも市中の中心にVegetation(野菜作り)の場を混入させ、食のあり方を空間として魅せ、可視化している点である。

京都新聞社賞として選ばれた作品、レイモンド向日保育園はこれも屋上にグリーンの場を配し、子供達の屋外空間として提案されている計画である。下部の空間との関連及び屋上へアクセスが提示されたパネルから判断しづらいが、室内-外部、視線-光の関連を重視しつつ計画がなされている。

京都をテーマに選定した中に、デスクトップ・ガーデンの継続性を伴った提案、年次ごとの柄のパターンをデザインの一部としている祇園祭長刀鉾浴衣、インテリアの東寺の家、ファッションの大鑑、学生作品として大屋根と庭の迎賓館が印象に残った。

中島 信也（株式会社東北新社取締役・CMディレクター）

僕にとって二回目の審査になった今年ですが、昨年より審査が難しく感じられました。昨年の場合、初めての審査という事で思い切りよくえいっ!と決められたんですがその後、京都デザイン協会とのお付き合いが深まるにつれて審査委員としての責任の重さをあらためて痛感した、というのは確かにあるかな、と思います。

しかしそれよりもなによりも重かったんは「京都デザイン賞」としてのアイデンティティの問題です。「これはすごい作品やねんけど、これのどこが京都デザイン賞やねん?」という自問自答。これに答えを出すのは相当難しい。というのは、この事を考えるという事は「京都デザイン賞とはなにか」という事を考える、という大変なことやからです。答えは簡単にでない。

そんな悩みを抱えつつ審査を進めたわけですが、他の審査委員の皆さんと受賞作を確定していく話し合いの中でだんだん「京都デザイン賞」というものの姿が見えてきました。つまり、単体ではないんです。すごく京都っぽいものもあるし、一見京都と関係ないやん、というものもある。しかしそのそれぞれがすごく質が高い。それらの作品の総体、入賞も含めた受賞作全体から発信されるメッセージ、それこそが「京都デザイン賞」なんかな、ということが見えてきました。

また勉強させてもらいました。僕にとって京都デザイン賞の審査をするということは、「京都とは何か」という事を考える事であり、ひいては「日本で何やねん」ということを考える、ということなんです。そんな機会を与えていただけてる事にほんまに感謝してます。



京都八百一本館

株式会社セントラルフルーツ 田中勝三
鹿島建設株式会社 荒井康昭





京都府知事賞

—A部門—

デスクトップ・ガーデン・プロジェクト

曾和治好, ジューリオ・カレガリ, 田畑了, 飯田章乃
(制作協力: igusa・mono)

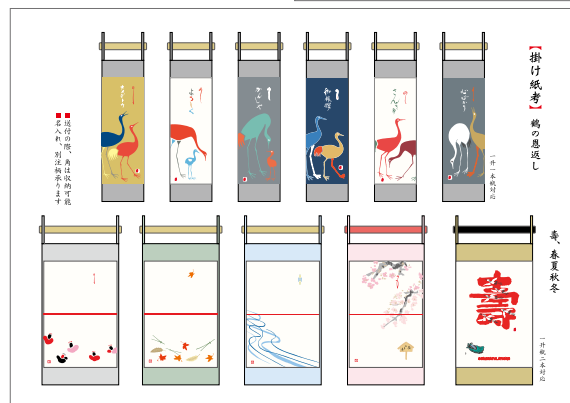


京都市長賞

—A部門—

祝、角樽 版画紙箱

株式会社離世 吉川喜洋子



京都商工会議所会頭賞

—B部門—

美山町特産ブランド酒 「和く輪く京美山」

美山粋仙庵 山田文男



京都新聞社賞

—B部門—

レイモンド向日保育園

株式会社アーキヴィジョン
広谷スタジオ



学生賞

—A部門—

京風証憑「古都書」

藤田久仁香

(京都嵯峨芸術大学短期大学部)



■ 部 門

- A 提案部門……………製品化・実用化することを前提としたもの。
- B 作品および製品部門……既に製品化・実用化されているものに限る。

■ 分 野

- 第1分野…グラフィックデザイン・ポスター・ブック・パンフレット・写真・イラストレーション・パッケージデザイン
- 第2分野…ファッションデザイン・テキスタイルデザイン・キモノ
- 第3分野…プロダクトデザイン・クラフト・雑貨デザイン
- 第4分野…ディスプレイ・インテリアデザイン・建築・ランドスケープ

入選 (A部門第1分野)

triangle

那須季紗良

(創造社デザイン専門学校)



入選 (A部門第1分野)

京都で“包む”ふろしき風箱型パッケージ

村中沙紀 (京都嵯峨芸術大学短期大学部)



入選 (A部門第3分野)

京の入れ物

大畑五月 (多摩美術大学)



入選 (A部門第3分野)

Lethe

河中彩子 (京都嵯峨芸術大学)



入選 (A部門第3分野)

鬼

小西栄二 (WELD ONE)



入選 (A部門第4分野)

大屋根と庭の迎賓館

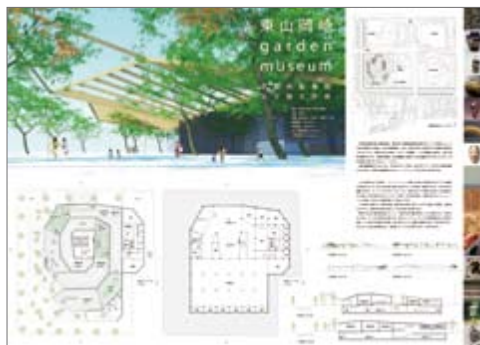
石原和海 (京都精華大学)



入選 (A部門第4分野)

東山岡崎 garden museum

坂口奈津季 (京都精華大学)



入選 (A部門第4分野)

連之蓑

中村瑞恵 (京都精華大学)



入選 (B 部門第 1 分野)

京千菓子 曆

亀屋良長 吉村由依子 ×
SOU・SOU



入選 (B 部門第 2 分野)

ウールマントコート

株式会社 一奎



入選 (B 部門第 2 分野)

和風スーツ 絹の門

株式会社 一奎



入選 (B 部門第 2 分野)

祇園祭長刀鉾浴衣

木村幾次郎



入選 (B 部門第 2 分野)

大鎧

有限会社豊明 桑山豊章



入選 (B 部門第 3 分野)

TriPod Power (トライポッド パワー)

atelier setsugekka 松山和之



入選 (B 部門第 3 分野)

ネプロス ラチェットハンドル
(NBR390)

京都機械工具株式会社



入選 (B 部門第 3 分野)

アームステッキ (木製手首ホールド型杖)

株式会社熊谷設計事務所・
熊デザイン工房 熊谷 勝



入選 (B 部門第 3 分野)

ステンレス製の卓上仏壇

幸栄板金工業 梅原幸男



入選 (B 部門第 3 分野)

Canvas ougi

光章



入選 (B 部門第 3 分野)

インセンスホルダー コリップ シェル

株式会社松栄堂



入選 (B 部門第 3 分野)

防災備蓄畳多機能収納バック

有限会社 畳工房ヨシオカ



入選 (B 部門第 3 分野)

デジタルとアナログをシンプルにつなぐ「立つノートカバー」

Beahouse



入選 (B 部門第 3 分野)

SOU・SOU× 竹又 貫 (かん)

若林株式会社



入選 (B 部門第 4 分野)

曲屏風

京都表具協同組合 販路拡大事業部



入選 (B 部門第 4 分野)

東寺の家

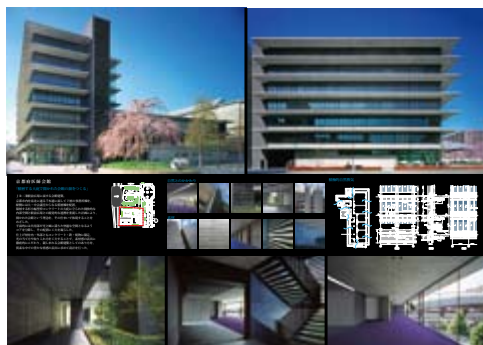
長坂 大 / Mega



入選 (B 部門第 4 分野)

京都府医師会館

株式会社日建設計 設計部 勝山太郎・多喜 茂



入選 (B 部門第 4 分野)

panscape2jo

ninkipen! 今津康夫



入選 (B 部門第 4 分野)

西洞院の町家

PLANET Creations 関谷昌人
建築設計アトリエ 関谷昌人



入選 (B 部門第 4 分野)

観竹荘

マニエラ建築設計事務所 大江一夫



入選 (B 部門第 4 分野)

UCHU wagashi 西陣店

一級建築士事務所ミラボ 吉田裕枝



公益社団法人 京都デザイン協会

〒 604-8247 京都市中京区塩屋町 39 (三条通小川北西角)
TEL : 050-3385-8008 FAX : 050-3385-8009
URL : <http://www.kyoto-design.net/>
mail : info@kyoto-design.net

■ 主催
(公社) 京都デザイン協会

■ 後援
京都府
京都市
京都商工会議所
(公財) 京都産業 21
京都府中小企業団体中央会
京都市立芸術大学
京都意匠文化研究機構
京都新聞社
京都新聞 COM
NHK 京都放送局
KBS 京都
エフエム京都

■ 協力
京都芸術家国民健康保険組合
(株) 染織と生活社
(株) 田中直染料店
府庁旧本館利活用応援ネット
(株) リーフ・パブリケーションズ

■ 賛助会員
市田 (株)
(株) イヤタカ
(株) エクザム
(有) エム・イー・エフ
(株) エヌ・シー・ピー
(有) エンカレッジ
(有) 画箋堂
(株) 京都銀行
京都信用金庫
京都中央信用金庫
京都百貨店協会

(株) 尚雅堂
(株) 聖護院ハツ橋総本店
(株) 竹尾大阪支店
(株) 千總
(株) パウハウス
(株) パルテごと
富士ゼロックス京都 (株)
平和紙業 (株)
(株) 丸二
山内紙器 (株)
(株) 友愛ビルサービス
(株) 六和証券 (株)
(株) 若林佛具製作所

■ 協賛
京都造形芸術大学
京都外国語大学
京都芸術デザイン専門学校
京都嵯峨芸術大学

京都精華大学
(株) 祇園平八
イワモトエンジニアリング (株)
刀剣 開陽堂
(有) エム・イー・エフ
松井建設 (株)
(株) 高橋工務店
(株) アートバンク
(株) アイビー長崎
(株) アルフインターナショナル
薔技塾 徳舩瓦店 (有)
(株) かわな工業
北白川天然ラジウム温泉
京菓子司 一善や
NPO 法人京都伝統工芸情報センター
弁護士法人 佐渡春樹法律事務所
(株) 穴栗住建
ターナー色彩 (株)
(株) ターレンスジャパン

(株) 大京リアルド
(有) ティアック
(株) TNC プライダルサービス
(株) ナカタニ工務店
(株) 西村工務店
(株) フクナガ
ホルベイン工業 (株)
BAL 中澤 (株)
まつもとクリニック
京都履物 (株)
(株) PALM
(株) みつくす
(株) おのみやす本舗
湯の宿 松栄 誠の湯
永正染工 (株)
(株) きつずファイブ
アドバンスト マテリアル ジャパン (株)
(株) 西川紙業
オリックス・ファシリティーズ (株)